

平成25年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	長期計画道路新設改良事業			
予算科目	8 款 2 項 3 目			
総合計画での位置付け	都市基盤の整備 道路・交通基盤の整備			
所管課情報	担当課: 道路河川課		電話番号(内線): 593	
記入者情報	所属長: 上坂 博一		担当責任者: 木曾 信之	
実施期間	【開始年度】平成 18 年度 【開始年度】平成27年度			
事業の対象	市道・車両及び歩行者			
事業の必要性	地域で生活している住民が中心市街地へ、早く安全に行き来できると共に、緊急車両の通行がスムーズにでき人命救助等に寄与できる。			
施工方法、場所	【施工方法】 請負施工	【施工場所】 伊予市内		
運営方法	【運営方法】 【運営費(予定)】			
事業の目的	新市建設計画道路における交通環境の改善を行い、交通事故を防止し、都市圏へのアクセスの円滑化を図る。			
事業の内容	現在1車線で未透視の悪い道路を部分的に改良し視距の確保と待避所を兼ねた拡幅工事を行い1.5車線の道路整備を行う。市道一ノ瀬高岡線・市道本村松尾線・市道高野川駅線の3路線計画			
改善策の具体的な取り組み(当初)	総合計画(H17~H32)に沿った事業執行が求められ、実施においても工法等を精査検討し、コスト縮減に取り組む必要がある。早期発注に向け地元関係者への丁寧な説明を行い、理解を得るための取組みも必要である。			
改善策の具体的な取り組み	なし。			

事業費及び財源内訳					
項目	24年度決算	25年度予算	9月末の執行状況	25年度決算	
事業費	直接事業費	48,090	44,090	396	43,656
	人件費	3,999	4,067	2,033	4,067
	合計	0	48,157	2,429	47,723
人件費内訳	人工数	0.50	0.50	0.25	0.50
	人件費単価	7,999	8,135	8,135	8,135
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	3,999	4,067	2,033	4,067
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	47,500	43,000	0	43,000
	その他	0	0	0	0
	一般財源	4,589	5,157	2,429	4,723

実施スケジュール							
項目	24年度以前	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度以降
測量試験費	50,212		4,316				
用地買収費	3,207	658		5,000			
支障物件補償費	1,600						
工事請負費	430,040	42,998		35,000	40,000		
年度別事業費	48,090	43,656	4,316	40,000	40,000		
財源	国・県支出金						
	地方債	47,500	43,000				
	その他						
	一般財源	590	656	4,316	40,000	40,000	
国・県支出金等名称	過疎債						

成果指標				
成果指標	整備済み延長÷計画延長(H18=163.1m、H19=220.0m、H20=134.0m、H21=163.1m、H22=68.7mH23=100.0m、H24=170.0m、H25計画=185.5m、H26以降(高野川駅線の計画L=270m)			
指標設定の考え方	計画事業量に対する整備事業量の割合を上げることにより、利用者の利便性向上と通行の安全確保を図ることが出来る。			
区分年度	24年度	25年度	26年度	目標28年度
目標	0	-	-	0
実績	-	-	-	-

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	総合計画に沿った事業執行が求められて、実施においても工法等を精査検討し、コスト縮減に取り組む必要がある。26年度から新規で始まる市道高野川駅線道路改良事業へ向けた取り組みが必要不可欠である。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	唯一の生活道路であり、高野川橋の修繕計画に沿った道路改良計画をすることが重要である。そのためにも、更なる地元の協力体制を得ることが必要である。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価 (行政評価委員会)	
-------------------	--

経営者会議の最終判断

事業の方向性	現状のまま継続する。
意見、課題	